



「僕、生まれた時から
阪神ファンだよ」

いまじょう 今城 稜創ちゃん (西大島)
H17.6.25生



「アーチです。我が家の
キュートなアイドルです♡」

的場 温子さん (押撫)



「お気に入りの
バイクで上機嫌」

ひろせ かいと 海斗ちゃん (高島)
H17.1.1生



「いつもラブラブです♡」

たかぶち けんと 高瀬 絢人ちゃん・珠那芭ちゃん
H14.4.23生 H17.12.1生
(美の浜)



「早く何かしゃべってね。」

すずき たつや 鈴木 達也ちゃん (笠岡)
H16.7.24生

あなたのお家の自慢できる人や物を紹介します。我が家のアイドル（子どもたち）、家族に人気者のペット、家宝、自分だけの宝物…。そんな自慢に一言メッセージを添えて企画政策課まで送ってください。

展覧会と行事のご案内

ふであと 竹喬の筆跡展 ～4月23日(日)

清水比庵作品もあわせて展示しています。

講演会

「伊藤草白の画業」
4月29日(祝)
13:30～
竹喬美術館視聴覚室
入館料のみ必要(65歳以上は無料)

〒714-0087
笠岡市六番町1-17
☎63-3967
ホームページ
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

「雲に興味を持ちだしたのは、戦後のことで、遠い夢や、造形への変化や、欲を云えば詩も生れて来そうである。自宅はやや高みで、庭樹や周辺の樹間から動いてゆく雲の姿、無心に近くそれを眺めている、日常生活での私である。」
(竹喬のことば)

さまざまな色や形をみせる雲を、竹喬はたびたびスケッチしている。この日の雲は大きなかたまりをなして、枝越しに光をさえぎりながらゆつくりと頭上を越えていった。



木と夕雲

小野竹喬 作
制作年不詳
35.2×24.4cm

竹喬美術館の光彩 40

今月の表紙

旧暦三月三日の満潮時に行われる伝統行事「北木島の流し雛」。今年も3月26日に大浦海岸で行われ、多数の島民とツアー客でにぎわいました。

市の重要無形民俗文化財に指定され、三百年も前から続くこの行事は、無病息災を願う紙雛を乗せた「うつろ舟」を海に流すものです。

参加された皆さんの願いはきつと叶うことでしょう。

係から

四月の人事異動で、産業振興課へ異動することになりました。笠岡市に入ってから初めて担当したのが広報という仕事。多くの人と出会って、貴重な体験をさせていただきました。「毎月、広報読んでるよ。」という言葉に励まされ、ときにお叱りの言葉ももらいながら、走り抜けた四年間でした。

広報担当という仕事で得た抱えきれない財産を胸に、次の職場でも頑張っていきたいと思っています。

さて、次の担当者は…おっと、スペースもなくなってきたので次回のお楽しみです。

(向)



発行日/平成18年4月1日
発行/笠岡市役所
編集/企画政策課
〒714-8601 笠岡市中央町1-1
☎69-2110

印刷/アドハウス ☎66-4670

笠岡市ホームページ: <http://www.city.kasaoka.okayama.jp>
メールアドレス: kouhou@city.kasaoka.okayama.jp



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しています